

難病患者と介護者のつどいのお知らせ

口から食物を摂取することに伴う誤嚥は、難病患者にとって大きな問題です。誤嚥の予防やリハビリについて研修しましょう。また、音楽で心を癒し、在宅でのリハビリと介助の有効な手だてを学びましょう。

日 時 平成 26 年 3 月 8 日 (土) 10 : 00 ~ 15 : 00
場 所 しあわせの村 たんぽぽの家 ワークスペース
内 容

1. 難病患者と摂食・嚥下

進行 神戸市立医療センター 中央市民病院

神経内科部長 幸原伸夫

「嚥下とその予防について」

京都第一赤十字病院

リハビリテーション科部長 巨島文子

「飲み込み方の工夫とリハビリテーション」

国立病院機構 宇多野病院

言語聴覚士 関道子

2. 昼食

3. 難病と音楽療法

「豊かな療養生活を」

公立八鹿病院 副院長

脳神経内科部長 近藤清彦

音楽療法士 田端祥子

4. 難病のリハビリテーション

進行 公立八鹿病院 副院長

脳神経内科部長 近藤清彦

～患者の運動の仕方と介助の方法～

神戸市立医療センター 中央市民病院

リハビリテーション技術部主幹 前川利雄